



第13回 助成事業成果発表会

第14回 助成事業公開審査会

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金Hm²(ふむふむ)。広島の未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たに取り組もうとしている提案事業の審査を行います。どなたでもご覧いただけます。

- 日時:5月14日(土) 成果発表会:午前10時~正午
公開審査会:午後1時~5時半
- 場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)北棟4階ギャラリー
- 問合せ:(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係
☎082-541-5335



▲昨年度の様子(公開審査会)

第13回 助成事業成果発表会 発表団体

分野	団体名	活動内容
育成	特定非営利活動法人ヒューマン支援ネット	子どもの健全育成を図る活動／子どもの認知行動療法
	特定非営利活動法人フリースクール木のねっこ	生きるねっこを育むフリースクール活動
	特定非営利活動法人虹橋の会	和紙ちぎり絵や日本語教室などで中国帰国者と地域日本人住民との親睦を築く
	演劇集団ふらっと	演劇集団ふらっと第一回本公演朗読劇「いしづみ」
	権現峠の自然をまもる会	権現峠の歴史古道伝承による伴中央地域のまちづくり
	ロングトレイル研究会	広島湾岸トレイル(仮称)の開発・整備
	八幡東ほうれんそうネット	子どもが主役の遊びで学ぶ防災ワークショップ
	アリスガーデンパフォーマンス広場事業実行委員会	街文化の発信／「アリスガーデンパフォーマンス広場 AH!」
	鯉城の会	市外から訪れる障害者の介助／鯉城の会
	ひろしま市民活動ネットワークHEART to HEART	本で人がつながり、つながりから人が育つ「ブック&カフェ」づくり
施設整備	湯来里山会	湯来里山会「畑ガール」プロジェクト
	集いの縁側プロジェクト実行委員会	集いの縁側プロジェクト
施設整備	神乃倉山愛山会	イベント会場の棚改修工事

寄付のお願い

「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支え育てていくために設けられた基金です。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店/別段預金 No.3000017
口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口
専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限ります)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。

基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…
【ひと(Hito)まち(Machi)広島(Hiroshima)未来づくり(Miraizukuri)ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって“ふむふむ”と読みます。[ひと]と[まち]をつなぎ、[広島]の[未来]を創造するファンドで、みんなが“ふむふむ”と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
Hm²

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は公開により、学識経験者などで構成する運営委員会が審査・選考を行います。

平成27年度助成団体や助成額、活動報告等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

Hm²助成支援団体のご紹介

ロングトレイル研究会

▶代表 田川 宏規さん

中・四国地方初のロングトレイル(長距離自然道)を広島に造ることを目的に、平成25年7月に結成されたのが「ロングトレイル研究会」です。「ロングトレイルを造ることで、地域の自然・歴史を見直して新たな観光資源の創出による地域振興、そして人の手入れが入らないことで荒廃する里山の整備にもつながります」と代表の田川宏規さんは語ります。

当初は有志3人で結成された研究会は、現在は約50人が参加。全国各地のロングトレイルを視察しながら、まずは広島市内近郊の里山コースの整備に着手。実際に、里道と呼ばれるその地域に住む人々が昔歩いていた道を踏査した上で、東方面は呉から江田島に向けてのルート、西方面は呉から北広島町方面を経由後に宮島・弥山へ向かうルート、全体で250kmにもおよぶ「広島湾岸トレイル」の整備を始めています。



▲整備作業の様子

平成27年11月には、幅広い人たちにロングトレイルに対して興味を持つもらうためのフォーラムと、実際にコースを歩いてもらおう体験会を開催。564人もの参加がありました。この他にも、広島市内の公民館などで、トレーリ歩きのための安全登山推進講座を開催したり、「広島湾岸トレイル」の認知度を上げるために、延べ26回にも及ぶ全コース250kmを歩くトレイル体験会を開催するなどさまざまな試みにも取り組んでいます。「私たちの活動に、今後、行政にも積極的に協力をしてもらえるように、近隣の4市5町(広島市、呉市、廿日市市、江田島市、海田市、府中町、坂町、熊野町、北広島町)にも働きかけを行っています。課題はありますが、将来的には里山をつなぐことで自治体の協業が強まり、自然を通じてもっと地域振興が深まっていけばと考えています」と、田川さんは今後について語ってくれました。



▲大町・武田山踏査の様子

自然のあるがままの魅力を、新たな観光資源として創出

「整備は、倒木を除去したり、草刈りをすることで、その際に一番大切なのは景観を損なわないようにすることです。あくまでそこにある自然があるがままに親しむことが重要ですので、整備はそのほとんどが手作業で、一日にできる作業は限られ、地道な活動が求められています」。



▲製作の様子

集いの縁側プロジェクト実行委員会

▶事務局 なかむら まさお
仲村 正夫さん

庚午第一公園内にある庚午北集会所の縁側を整備し、集会所に新しい機能を付加するとともに、地域住民のコミュニティ活性化を図る目的で平成27年2月に結成されたのが「集いの縁側プロジェクト実行委員会」です。地域住民の有志で活動しています。

「庚午北集会所は、国道2号線の宮島街道から一本北側の道路沿いで、広電宮島線高須駅にも近いなど、交通アクセスが便利で立地もよく、利用頻度の高い集会所です。しかし集会室は手狭なため、縁側を新たな空間として活用し、集会所利用者でなくとも立ち寄れる屋外スペースを作る構想が生まれました。公園利用者にとっても集会所利用者にとっても利用しやすい環境をつくるため、縁側空間の整備に取り組むことにしたのです」と事務局の仲村正夫さんは語ります。

縁側製作で、地域住民のコミュニティ活性化を

平成27年春から、メンバーの建築家を中心、縁側の設計をスタート。ボランティアの大工の指導の下、メンバーの休日などをを利用して少しづつ作り、平成28年3月に工事が終了しました。「当初は、長方形



▲メンバーの皆さん

のウッドデッキのみを作る予定でしたが、アイデアを出し合い、前面に凹凸のある掘りごたつ式のウッドデッキを作る形に変更。利用者がより使いやすく、将来的にはここをカフェテラスとしても使い、地域住民の相互交流が図れるようにしていきたいです」。

仲村さんをはじめ、メンバーの皆さんは、製作の過程で地域住民が工事に積極的に参加するなどして交流が盛んになり、今まで以上に庚午北集会所への愛着が湧いていると感じているそうです。

「今後は、地域の歴史をまとめたパネル展示や、地域のお祭りに使う事も予定しています。地域住民自らによって、庚午北集会所の縁側空間をより魅力的なスペースとして整備し、活用していく取り組みが、一つの地域交流のモデルケースになれば、とも考えています」と、仲村さんは語ってくれました。

名人 宝人 達人

Interview 1

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。地域活動やまちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

しおん中国舞踊広島 代表 三浦 琉璃さん

中国の文化、中国舞踊の魅力を伝えることで、日本と中国の国際交流の架け橋となる

平成19年に国際交流事業の一環で訪れた中国・青島で目にした、中国舞踊の華麗で艶やかな姿に魅せられた三浦琉璃さん。三浦さん自身が中国舞踊を踊ることを夢見て、まずは中国語の習得のために留学を決意。平成21年に短期間の語学留学を果たし、同時に中国舞踊の師範との交流や中国舞踊の習得にも力を注ぎます。三浦さんは、クラシックバレエの経験はありましたが、中国舞踊の独特の踊りを理解するには苦労したそうです。以後毎年のように短期留学を積み重ね、日本で教えることが出来るまでになりました。そして平成26年に人材バンクに登録。平成19年以降毎年訪中する中で、中国舞踊の普及を通して、日中の国際交流の架け橋になろうとしています。



▲チベット族の踊り



▲モンゴル族の踊り

現在の活動は、これまで取り組んできた骨盤体操と中国舞踊を組み合わせた健康維持の講座を、広島市内の公共施設などで週2回行っています。「はじめはからだの歪みを整え、ストレッチと各関節の可動域を広げる骨盤体操目的で参加する人が多いのですが、中国舞踊と一緒にすることで、次第に中国舞踊に引かれる人も多いですね」。中国舞踊は日本舞踊や西洋のダンスにはない独特の表現力、そしてそれぞれの民族の風習に密着した要素が盛り込まれており、芸術性の高さも三浦さんを引き付ける理由になっているそうです。

「私が中国舞踊を習い、日本で教え始めた頃はもちろんですが、今も教える日本人は珍しいと思います。私にとって、中国に行った時や在日の中国の方との交流を通して異国の文化に触れることが刺激になり、一緒に踊る人たちとの国際交流にもつながっています。これからも微力ではありますが、中国舞踊を通して国際交流の一翼を担うことができれば」と三浦さんは考えているそうです。



▲廿日市市立廿日市中学校を、広島のメンバーと一緒に訪問する舞踊団（三浦さんの師匠と舞踊仲間）で一緒に訪問。公演と合わせて、交流を図った時の様子。

まちづくりボランティア人材バンクの達人探しは「ひろしま情報a-ネット」が便利!

まちづくりボランティア人材バンクには現在240名余りの達人が270件を超えるボランティア活動で登録しています。こんな達人はいるかな?どんな達人がいるの?達人をお探しの時は、ひろしま市民活動支援総合情報システム「ひろしま情報a-ネット」<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/anet/>が便利です。

例えば「イベントで演奏してくれる達人を探したい」時は、次のように検索します。



- トップページの「まちづくり・ボランティア人材バンク」をクリックします。
- まちづくり・ボランティア人材バンク内の関連項目をクリックします。ここでは「芸術・文化」をクリックしてみましょう。
- 検索結果一覧から、気になるタイトルをクリックすると、詳しい情報が表示されます。

Interview 2

NPO法人上中調子神楽団 あおぞら子供神楽団 代表 池原 康則さん

神楽を通して、世代を超えた交流。 そして、神楽の真髓のような人間形成の場を作ることが理想

平成13年に、安芸高田市出身で代表を務める池原康則さんが結成したのが、「NPO法人上中調子神楽団 あおぞら子供神楽団」です。

「当時、広島市に住みながら故郷の安芸高田市の神楽団の団長を務めていた時、広島市東区の神社で神楽を舞う機会があり、観に来ていた小学生から『神楽を教えて欲しい』とお願いされました。その後、西区で舞った時にも、同じ小学生から再びお願いされ、その子どもの熱意に打たれて広島市で子ども神楽団を作ることを決めました」と池原さんは、神楽団を作るきっかけについて語ります。

池原さんは、住んでいた安佐南区川内地区でもその昔、神楽団があったことから、自営する会社の2階を改装し、神楽の稽古場を作り、まずは幼稚園、小学生、中学生を対象にした「あおぞら子供神楽団」を結成。その後、高校生以上の大人を対象にした「上中調子神楽団」も結成します。

平成16年にNPO法人化し、人材バンクにも登録。活動の評価が高まり、今では広島市内はもちろん、各神社の推薦もあって

広島県内、そして島根県でも公演を行っているそ

うです。平成28年には、これまでの活動理念・実績が認められて、広島ユネスコ活動奨励賞を受賞しました。

28人が在籍する「あおぞら子供神楽団」は、老人ホームなどの福祉施設

での公演を中心に活動。13人が在籍する「上中調子神楽団」は、近隣の神社のお祭りや地域のイベントに出演。団員は、地元安佐南区以外にも、東区、西区などから、毎週2回の稽古に通ってきます。

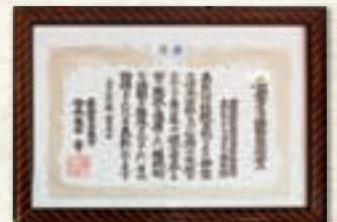
「2つの神楽団を作った目的は、子どもも神楽を舞った子どもたちが、成人した後も、神楽を舞う場所があり、世代交流ができればと考えたからです。そして神楽は、悪い者を退治し、最後は聖人が残ることを、真髓としています。それは実社会も同じ。つらい事でも、コツコツと頑張れば、きっと見ている人や認めてくれる人がいる。我慢して、悪い方へ流されないように、正しい道を選べるように、

そんな人間形成の場が神楽を通してできれば」と池原さんは子どもたちに神楽を教える理由を語ってくれました。

今後も、広島の伝統芸能である神楽を通して、皆さんの世代を超えた活動がどのように広がっていくのか楽しみです。



▲稽古の様子



▲あおぞら子供神楽団の皆さん

まちづくりボランティア人材バンク発表会

ボランティア登録者が自らの達人ぶりを披露します。気軽に立ち寄りください。

- 日時／毎月第4土曜日 午後2時～3時半
- 場所／南棟1階ロビー

●参加費・申込／原則不要

※当バンクは、政治、宗教、営利目的の活動での利用はできません。

※達人紹介は、団体・グループからの依頼に限ります。個人活動や長期継続活動への紹介はできません。

※達人は、実費弁償ボランティアとして活動します。交通費、資料代、材料費等の実費は、申込団体にご負担いただきます。

開催日	内 容	出演者名
4月23日(土)	コミュニケーション能力を高めて、人間関係をよくしましょう	扇谷 多喜子さん
5月	人の人材バンク発表会はお休みします。	
6月25日(土)	こんな“争続”ていませんか？～失敗から学ぶ相続の基本～	街のお困りお助け隊
7月23日(土)	夏休み「動くオモチャ」の工作教室	マサジいさん

※内容・出演者は急遽変更になる場合があります。

達人紹介・達人登録などのお申込・お問い合わせ先

合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）
☎ (082)545-3911 ☎ (082)545-3838